

朗読指導者（主催：公益財団法人文字・活字文化推進機構）概要

朗読指導者とは、絵本から古典文学まで、幅広い題材から日本語の特性をふまえた読み方を身につけ、「言葉の力で未来を拓く」子どもを育てたいという志を持って、朗読を通して地域をつなぎ、読書活動を推進する方々です。

●山根基世の朗読指導者養成講座

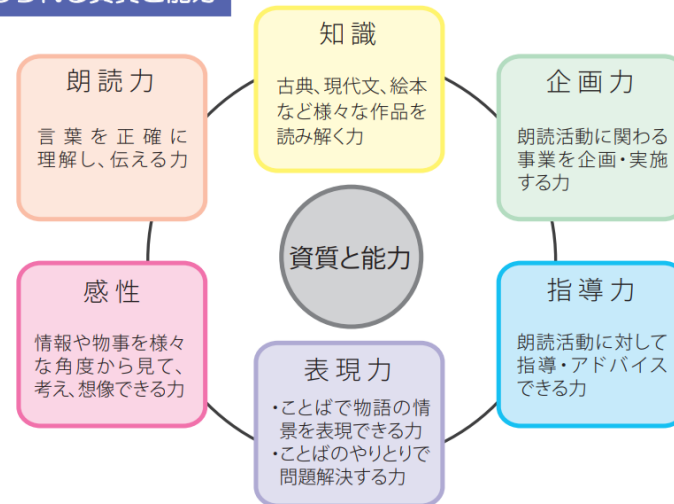
講座開始：平成27年度 ※令和7年度で第9期

受講会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

受講料：72,000円（税込、全12回分）

修了生：345名（令和6年度末）

朗読指導者に求められる資質と能力



朗読の指導者として様々な場面で活躍

図書館 保育所 幼稚園 学校 医療機関
公民館 児童館 企業 等

聴き手の五感を刺激し、本の魅力を伝える

「山根基世の朗読指導者養成講座」修了生の活動支援事業

地域での読書推進の一助としてまた、朗読者・絵本専門士の活動の活性化を目的として、全国の文学館・美術館・博物館で開催されるイベントなどへの朗読者・絵本専門士の派遣事業を令和6年度より実施しております。

＜活動支援例＞ 朗読指導者養成講座修了生による連続朗読会

令和6年8月、大分県立美術館「虫展」で虫の絵本の読み聞かせ会。令和7年2月、谷崎潤一郎記念館で、朗読会「世にも奇妙な物語―蠢く春に怪談を―」などを開催。他にも、令和7年5月には、「ひじりばし博覧会」で朗読指導者養成講座修了生による連続朗読会を開催し、修了生12名を派遣しています。